

Modern **Makonde**

carvings by **Mathias Nampoka**

01



Modern **Makonde** carvings by **Mathias Nampoka**

▶マティアス ナンポカ氏 によるマコンデ彫刻



作家：マティアス ナンポカ (Mathias Nampoka, 1971~)

タンザニア生まれ。彫り始めるまえに木と向き合うと、そこにあるべきシェタニ（精霊）の姿が見えてくると言います。シェタニの彫刻ばかりを彫っていますが、二度と同じ形は現れません。庭にあるタマリンドの木の下が彼の工房です。タンザニアのマコンデ彫刻の伝統を受け継ぎながら、シェタニ像をより流線的で抽象度の高いかたちへ展開している彫刻家です。民俗的・宗教的背景を土台にしつつ、現代彫刻的な造形感覚をもった作家と評価されています。

素材：ムピンゴ (アフリカン・ブラックウッド)

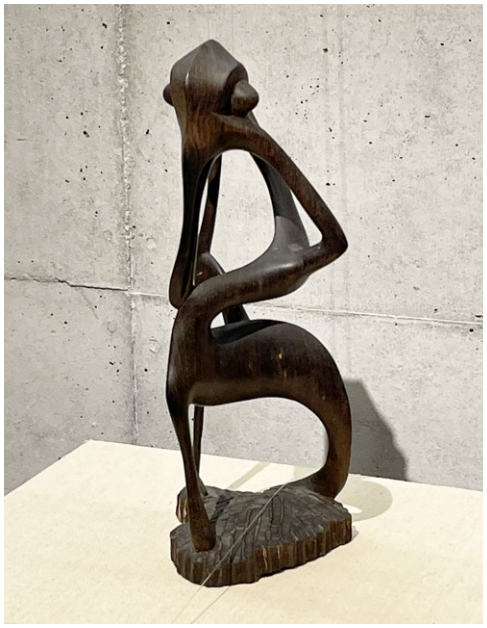
スワヒリ語でムピンゴ (Mpingo) と呼ばれる黒檀によく似た木は、周りが白っぽく中心が黒いこの不思議なムピンゴは、伐採可能なまで成長するのに 70〜100 年くらいかかるというとても硬い木です。クラリネットやオーボエなどの楽器にも使われてきました。彫刻家たちは木の声を聞きながらノミなどを使って彫ってゆきます。



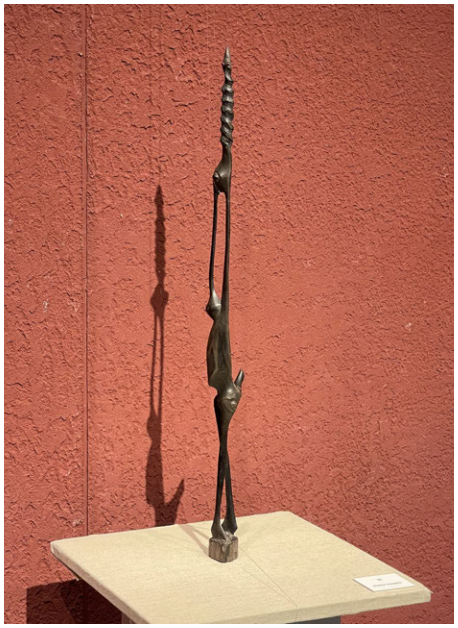




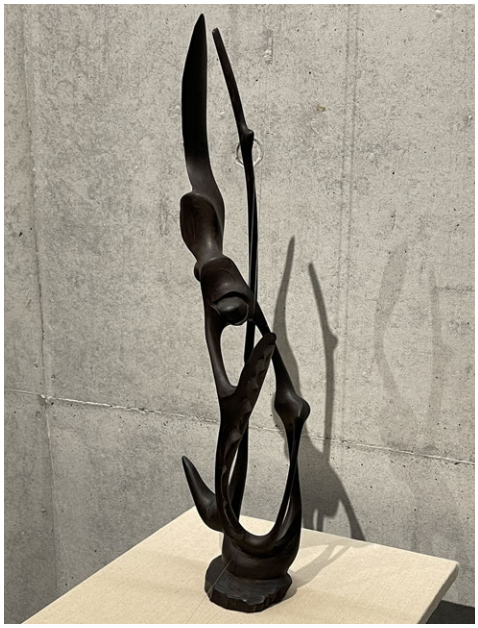
接着や接合をすることなく一本の木の塊からノミで掘り出します。見る角度によって大きく表情が変わるものこの彫刻の魅力です。



□ 27h×11w×11d（cm）



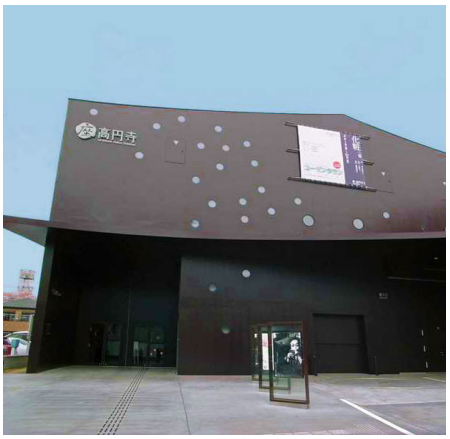
□ 45h×3w×5d（cm）

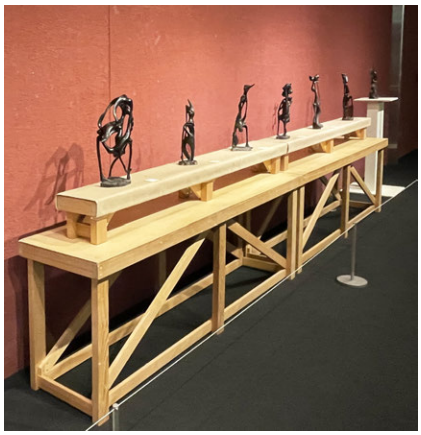


□ 49h×13w×17d（cm）

▶ 座・高円寺での展示

杉並区にある『座・高円寺』の B1 ギャラリーで 2022 年 1 月に日本で初めてのマティアス ナンポカ氏の展覧会が開催されました。
建築家やクリエイターの来場者を中心に大きな反響がありました。







▶ 都内在住のナンポカ氏のコレクターの住まい

モダンな家具とナンポカ氏のマコンデ彫刻が不思議なマッチングを見せます。この方は自ら特注するほどのナンポカ氏のファンでもあります。









